



代表取締役

伊藤 弘幸

皆様どうぞよろしく
お願いいたします。

いくでしょう。

ウイズアートもこれから、どんどん変わって
いくでしょう。

今回の講義を終えて、若者の姿に未来を感じました。若者の言葉に夢を見い出しました。年若いでも、若者と共に、堂々と前に進んで参りたいと考えざるを得ません。そして、自分の夢も若者と同様に信じたいと新たな気持ちになりました。

時代がどんどん変わって社会も会社も、そして大学も変わろうとしています。私達は何を信じて、何を手本にして進んでいくのか、『学ぶこと』『知ること』がもつともつと大切な時代になると思います。

一人の町の小さな経営者が今の不確実な世の中で何を基準に企業経営を行っているのか、必死になつて前に進もうとしている姿を見て、聞いていただければと思いました。

先日、昨年引き続き右記の題で県立広島大学に於いて60分のサテライト講義をしました。県内の大企業に交じつて、町の小さな建築屋である㈱ウイズアートの地域での役割や未来、そして私の夢を学生に述べさせていただきました。

『町の小さな建築屋が
SDGsを通して夢を語る』

たてもの見聞録 ～ 日光田母沢御用邸 in 栃木県 ～

日光田母沢御用邸(重要文化財)は、1899(明治32)年に嘉仁親王(大正天皇)のご静養のために造営され、1947(昭和22)年に廃止になるまでの間、三代にわたる天皇・皇太子がご利用になりました。明治期に造営された御用邸の中でも最大級の木造建築で、本邸が現存する唯一の建物です。**江戸・明治・大正と三時代の建築様式**をもつ集合建築群で、これらの建物の併用が、当初から存在したかのように建てられているところに大きな特徴があります。



御車寄(赤坂離宮から移築 明治)

緑に囲まれた御用邸。門から玄関までのアプローチを歩くだけで、凛としました。



謁見所(大正期増築部分)

←床の間と天井は真の書院造りでありながら、畳敷きの上には英国製の絨毯を敷き和洋折衷となっている。柱と造作材には**最高級の尾州檜**が用いられており、平成の改修に携わった人は「**木材の宝石箱**」と称賛した。



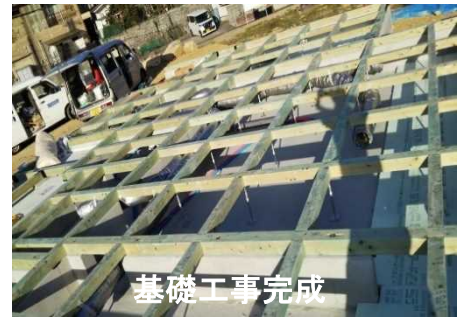
御学問所(旧紀州徳川家江戸中屋敷)

木造の利を生かした和風建築で建てられたことが、「**伝統を意識した建築の創造**」という明治後半の潮流に繋がり、その後の近代建築に大きな影響を与えています。

現在は性能や便利さを追求する中で、伝統を意識するという事が薄れてきているようにも感じます。改めて日本を知ることができた建物でした。(S.I)

／ 様邸 新築工事 ～地鎮祭・上棟式～

地鎮祭



基礎工事完成

10月9日上棟式が行われました。上棟式とは、無事に建物が完成することを祈願する儀式です。大工の棟梁が塩を四方に盛り、施主様がお酒で清められます。当日は16名の大工が集まり、安全の確認をし、棟上げに取り掛かりました。昼食時には御幣の前で施主様と工事関係者が共に食事をしながらこれからの工事等を話し合いました。朝8時から夕方18時までかかり、屋根まで仕上げました。I様邸は、スーパーウォール(高性能住宅工法)を用いた、高気密・高断熱構造の住宅です。快適な住宅になるよう、完成を目指します。

上棟



朝礼の様子



四方固めの儀



柱建て



直会の儀



御幣



担当:丸口が現場を見守っております。



『上棟とおかめ』

鎌倉時代に大報恩寺の本堂を作った大工の棟梁が大事な柱の寸法を間違って切ってしまいました。どうしたものかと悩みましたが、妻のおかめの名案により無事に本堂建築の大任を果たし、日本一の宮大工と称賛されました。棟梁はおかめの思いやりに感謝し、上棟式に御幣におかめの面を飾りました。それ以来、家の上棟式には共に工事の安全を祈りおかめの面を飾る習慣が始まりました。

また、「お多福」とも呼ばれ、その福々しい容姿から災厄の魔よけの意味も込められているようです。

この度は天候にも恵まれ、無事上棟式を迎えることができました。これから完成に向け、安全第一に丁寧に、確実に工事を進めて参ります。

丸口

日本の「住まい(住舞)」

最近、古い家屋の改修をお客様より頼まれ、訪問させていただくことがありました。建物の歴史や生活された人たちの歴史を感じ、「住まいの歴史」について知りたくなりました。「日本の住まい」について、古代から現代まで、実際に見た建物等の紹介を交え、お伝えしたいと思います。(S.I)

～ 縄文時代から室町時代 ～

「住宅建築」つまり「住まい」はその起源が最も古く、風雨、野獣、外敵などから身を守るため、人類が初めて稚拙な処置を講じたときから存在します。日本列島に人類が定着し、**住居を造るようになったのは縄文時代**(1万3000年前～紀元前4世紀)からといわれています。**縄文時代、弥生時代**(紀元前3世紀～3世紀)と多く発見されている住居の形式は『**竪穴住居**』です。

弥生時代は**稲作**が始まり、低湿な土地での生活となりました、住居内に木や、むしろを敷いたり、さらには床板を張るようになります。その後中国から石敷きの基壇が伝えられますが、板床張りが確立され、その床に座る生活様式とそれに基づく清潔感が日本人に浸透しており、寺院等に用いられた石敷きが住宅に用いられることはありませんでした。



2000年前の竪穴住居



高床倉庫

登呂遺跡の竪穴住居はどつしりと、高床倉庫はスタイルの良い建物でした。先人のセンスに拍手！！

【登呂遺跡（静岡県静岡市）】昭和18年（1943）に発見され、戦後本格的に調査が行なわれた。12棟の住居、2棟の高床倉庫、8ヘクタールの水田跡地、という**弥生時代後期**の稲作を中心とした集落の姿が明らかになった。

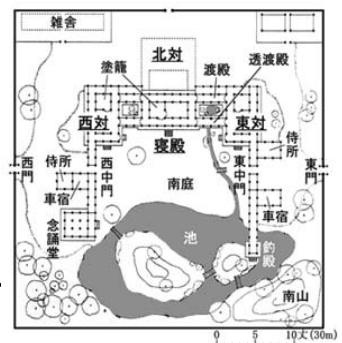
仏教が伝来(538年)すると同時に「中国大陸文化」が日本の文化に大きな影響を与えます。住居はその後平地へと移り、『**平地住居**』になります。平地住居は遺跡の発見が困難でほとんど明らかになっていません。



【法隆寺（奈良県生駒郡斑鳩町）】

今から1400年以上前の**飛鳥時代**、**607年**に聖徳太子により建立された。しかし、一度全焼し700年ごろ再び造られる。西院伽藍の中門・金堂・五重塔・回廊が、その時代から残る**世界最古の木造建築群**だ。そして、それを可能にしているのが使用されている『**檜**』。昭和の法隆寺の大修理では、全体の65%が1300年前の檜をそのまま使うことができたそうだ。修復に携わった名棟梁**西岡常一**氏によれば、その表面をカンナで削ると**檜独特の香りを放った**という。

平安時代(794～1185)になると、遣唐使による大陸文化の輸入が途絶え、日本独特の邸宅建築が大成したと考えられます。これが平安貴族の建築様式『**寝殿造**』です。**寝殿**や**対**は居所以外に平安貴族の生活と深くかかわった**儀礼や行事の舞台**ともなりました。寝殿の全面的**南庭**も観賞用ではなく、寝殿と並ぶ儀式の場として作られた空間です。この儀式は社会秩序に基づく自身の存在を第三者に示す重要な機会でもありました。**寝殿造の様式**は**鎌倉時代**以降も受け継がれます。社会や生活の変化に対応しながら発展し、**室町時代後期**から江戸時代初期にかけて『**書院造**』が成立します。(つづく)



京都の博物館で見て、非常に驚いた山水画です。誰の作品でしょうか？かの有名な**雪舟(室町時代)**です。私が思う**一般的な家**という概念(赤枠部分)はこの時代から変わっていないのだとびっくりしました。

～ ウイズアートの現場から～

公共工事



原集会所 ～安佐南区～

【耐震改修工事 広島市】(竹本)

公共工事



大磯・星ヶ丘集会所 ～安芸区～

【屋根改修工事 広島市】(下野)

公共工事



東野集会所 ～安佐南区～

【耐震改修工事 広島市】(竹本)

テナント



まりも動物病院
安佐南区郡原1-23-12



解体完了



既存病院内を解体後、間仕切りをし、
トリミング室・休憩室・手術室を新設
しました。(竹本)

古民家



～安芸区～ 屋根瓦葺き替え



柱のジャッキアップ



梁取替え

【H様邸改修工事】2階建ての一部を解体、吹き抜け空間とし趣味の部屋として改修していきます。(伊藤)

ビル



～中区～

【第5Rビル外壁改修工事】(山川)

リフォーム



～安佐南区～

【O様邸屋根・外壁明装工事】(下野)

工場



～安芸区～

【某工場新築工事】(山川・亀田)



～西区～

【N様邸】玄関屋根
塗装工事 (伊藤)



～安芸区～

【N様邸】玄関ドア
(特注)取替え(伊藤)



ウイズアートの
社歌動画見てね!!



宅地建物取引業
業務を始めました
免許証番号
広島県知事
(1)第11156号
ご相談承ります



総合建設業 一級建築士事務所

ウイズアート

広島市中区竹屋町1-17 TEL.082-247-0062 ウイズアート広島 松浦